ファイナルファンタジー® XIV 推奨 Gigabit 無線LANルータ

MZK-WG300FF14

User's Manual

目次

第 1 章：本製品について

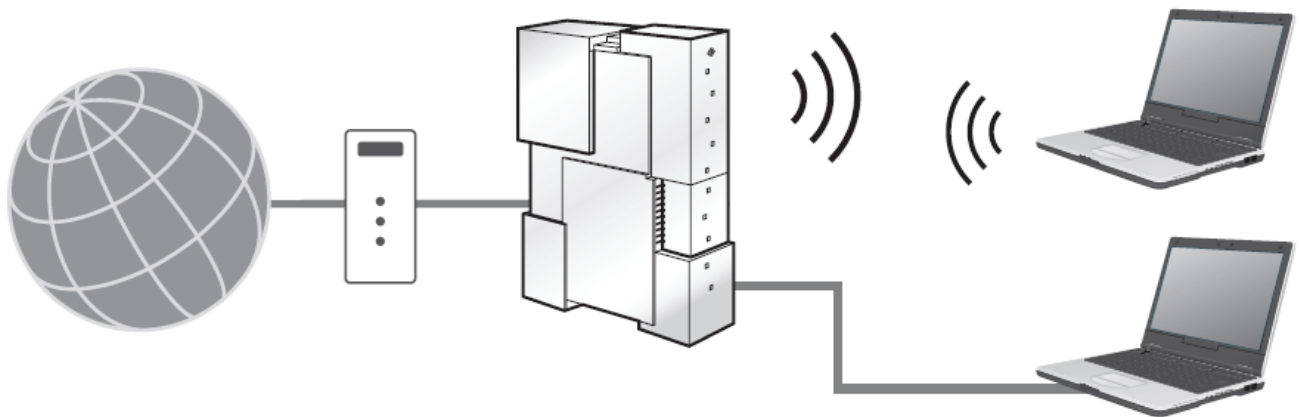
1.1 付属品

本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品をご使用になる前に、同梱されている付属品をご確認ください。パッケージ内容に欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

	同梱物	数量	
1	MZK-WG300FF14（本製品）	1	□
2	AC アダプタ	1	□
3	LAN ケーブル	1	□
4	専用プレミアムパネル	1	□
5	スタートガイド	1	□
6	安全に関する説明書／保証書	1	□

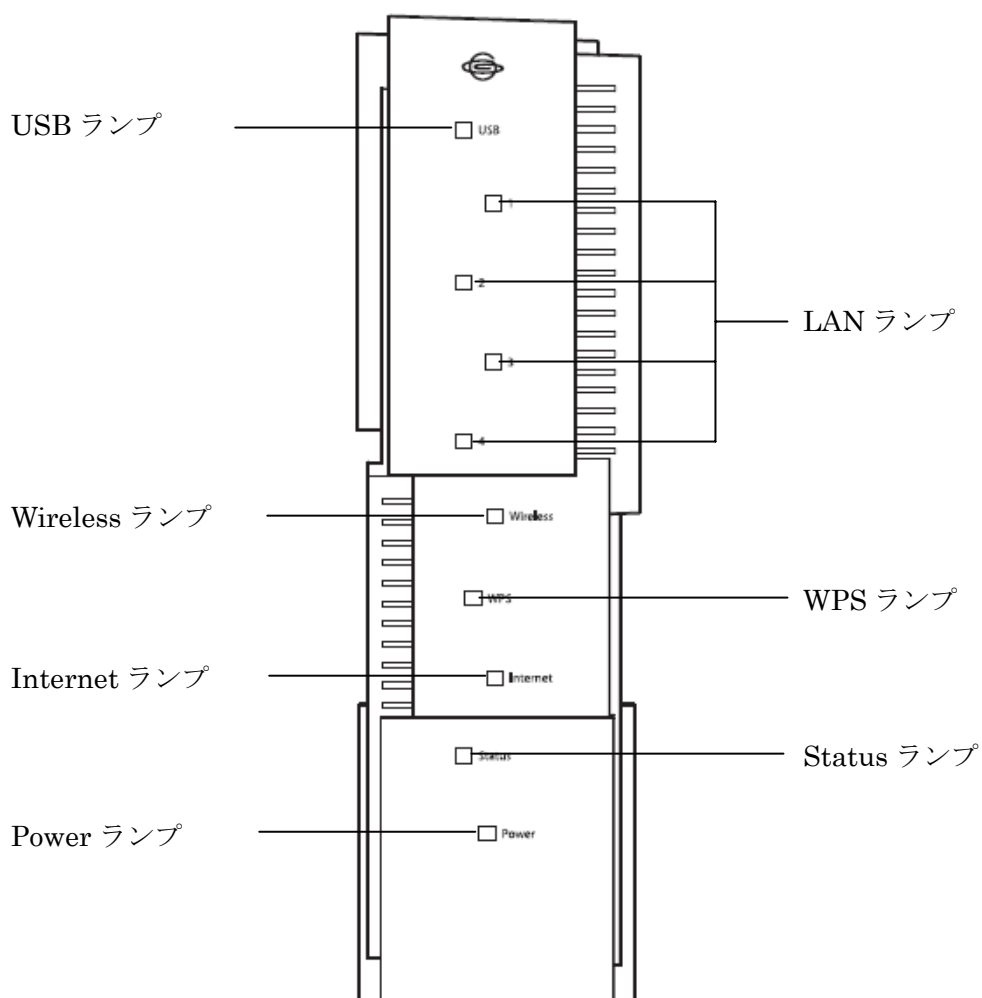
※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

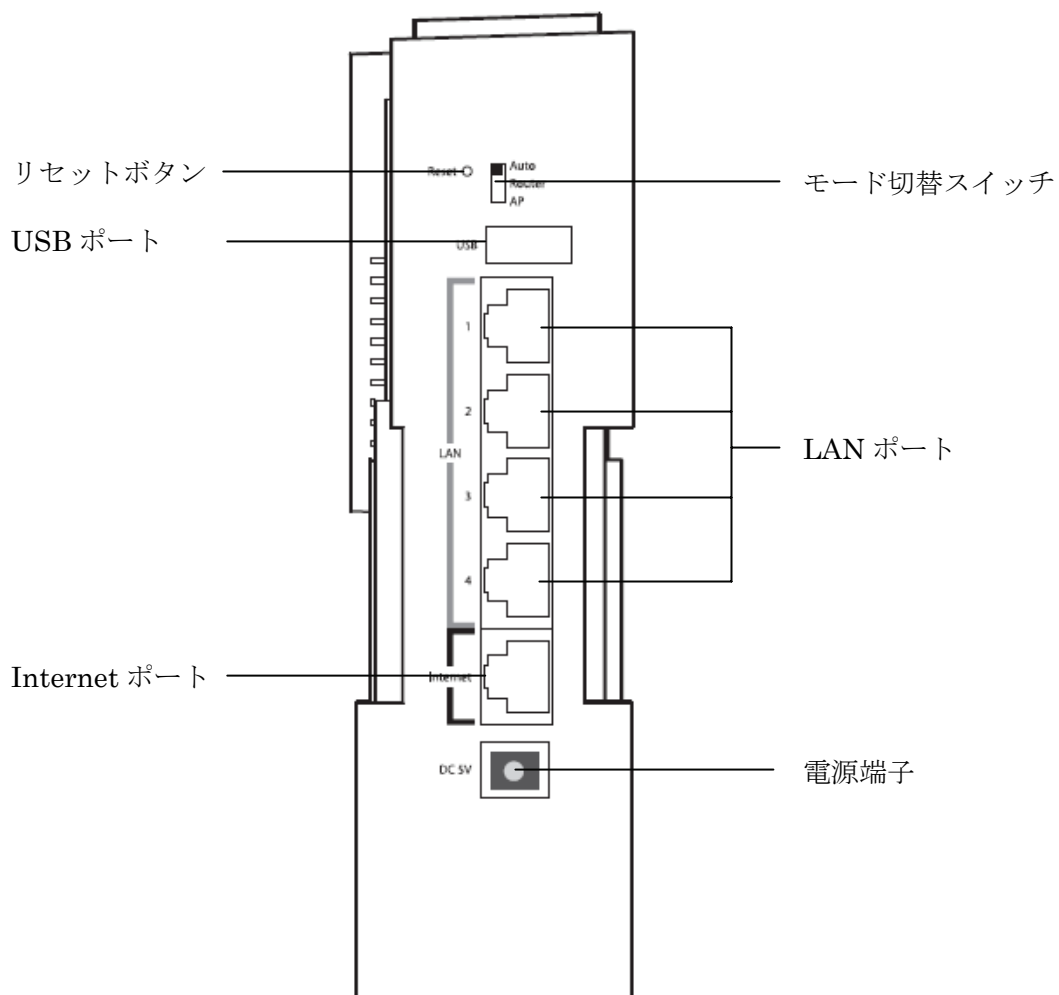
1.2 本製品の特徴

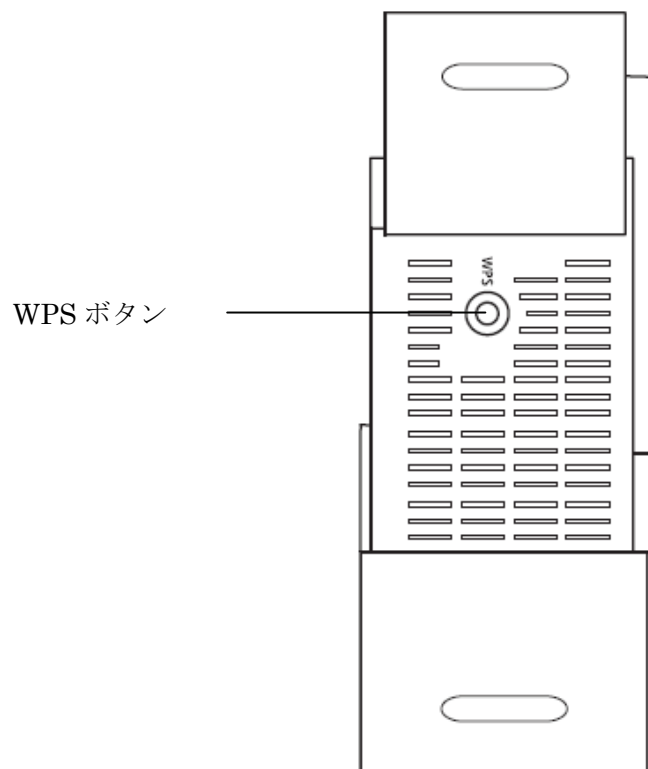
最大 1Gbps のギガビットイーサネット、及び最大 300Mbps の無線ネットワークに対応。
高速で快適なインターネット接続が可能になります。

本製品はお使いのネットワーク環境を自動判別して、ルータとアクセスポイントを自動的に切換えます。

1.3 各部の名称とはたらき

本製品各部の名称について説明します。

本体前面

USB ランプ	USB ポートの状態を表示します。
LAN ランプ	LAN ポートの状態を表示します。
Wireless ランプ	無線 LAN の状態を表示します。
WPS ランプ	WPS 機能の状態を表示します。
Internet ランプ	インターネット接続の状態を表示します。
Status ランプ	本製品の状態を表示します。
Power ランプ	電源の状態を表示します。

本体背面

リセットボタン	本製品を初期化します。 リセットボタンを 10 秒以上長押しし、Status ランプが一旦消灯後、橙色で点灯したら手を離します。本製品を工場出荷時の設定にリセットし再起動します。
モード切替スイッチ	本製品の動作モードを切り替えます。 AUTO　:ネットワーク環境を自動判別して、ルータとアクセスポイントを自動的に切換えます。※通常はこのモードを使用します。 Router　:ルータモードで動作します。 AP　:アクセスポイントモードで動作します。
USB ポート	※バージョンアップにより機能追加予定
LAN ポート	ご使用のローカルエリアネットワークと接続します。
Internet ポート	ご使用のインターネット回線に付属の LAN ケーブルで接続します。
電源端子	付属の AC アダプタを取り付けます。

本体底面

WPS ボタン	本製品前面の「WPS」ランプが点滅するまで、WPS ボタンを押します。（約 3 秒） 無線 LAN 子機の WPS ボタン、または接続ユーティリティ上の WPS ボタンを押して、無線 LAN 接続します。

1.4 ランプの動作

ランプの名称	色	状態	動作
USB	緑	点灯	※バージョンアップにより機能追加予定
		点滅	※バージョンアップにより機能追加予定
LAN 1～4	橙	点灯	10/100Mbps による有線 LAN 機能が有効です。
		点滅	10/100Mbps によるデータ送受信が行われています。
	緑	点灯	1Gbps による有線 LAN 機能が有効です。
		点滅	1Gbps によるデータ送受信が行われています。
		消灯	LAN ケーブルが正しく接続されていません。
Wireless	緑	点滅	無線 LAN 機能が有効です。
		消灯	無線 LAN 機能が無効です。
WPS	緑	点滅	WPS 接続を試行中です。
		点滅 →点灯	WPS 接続が成功しています。 （約 5 分後に消灯します。）
		点滅 →消灯	WPS 接続が失敗しています。
Internet	橙	点灯	10/100Mbps によるネットワーク機能が有効です。
		点滅	10/100Mbps によるデータ送受信が行われています。
	緑	点灯	1Gbps によるネットワーク機能が有効です。
		点滅	1Gbps によるデータ送受信が行われています。
		消灯	LAN ケーブルが正しく接続されていません。
Status	橙	点灯	電源投入直後や再起動後の起動中の状態です。
	緑	点灯	完全に起動しご利用頂ける状態です。
Power	緑	点灯	電源が入っている状態です。
		点灯	付属の AC アダプタが正しく接続されていません。

1.5 機器の接続

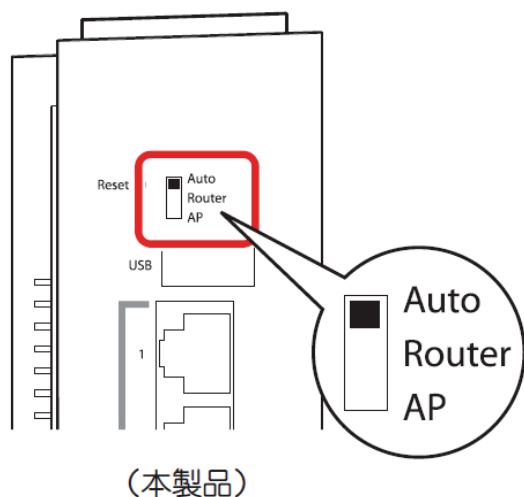
本製品を通信機器、またはインターネット回線に接続します。

1.5.1 はじめに

本製品「Router（ルータモード）」、「AP（アクセスポイントモード）」の他に、自動的にインターネット回線を認識する「Auto（オートモード）」があります。
「Router（ルータモード）」、「AP（アクセスポイントモード）」にそれぞれに切り替えて設定する事が可能ですが、本マニュアルでは「Auto（オートモード）」での設定方法を説明します。

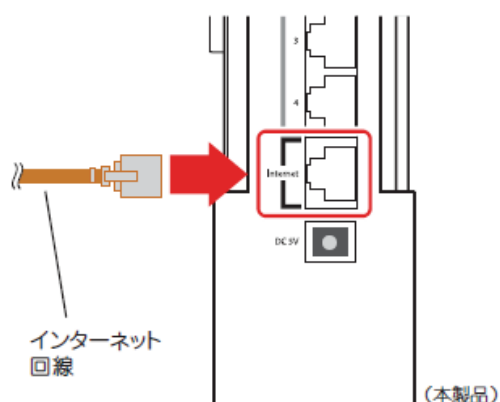
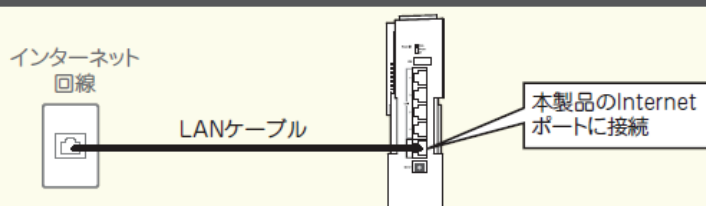
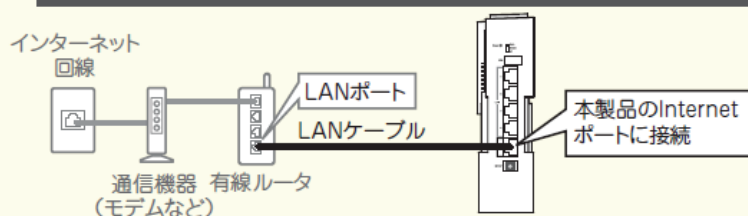
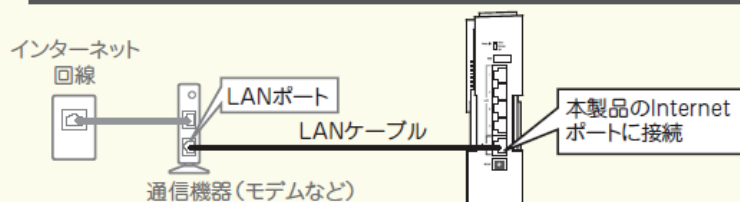
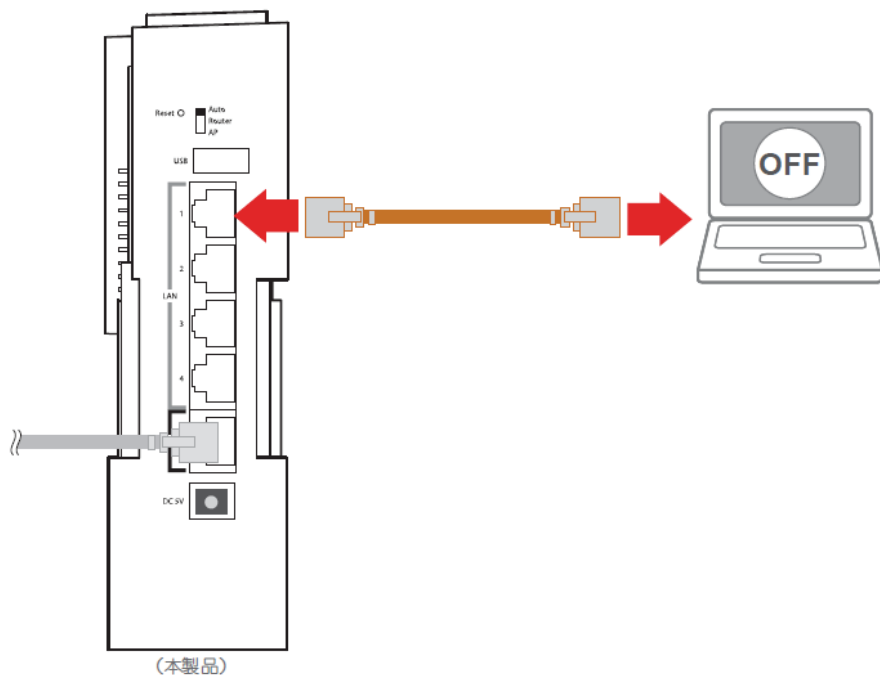
1.5.2 接続方法

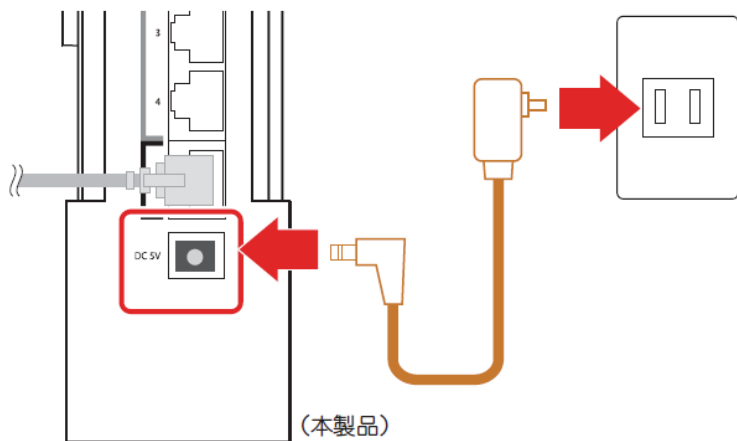
1. 本製品底面のモード切替スイッチが「Auto」側になっていることを確認します。
   ※「Router」または「AP」になっているときは、「Auto」側に切換えてください。

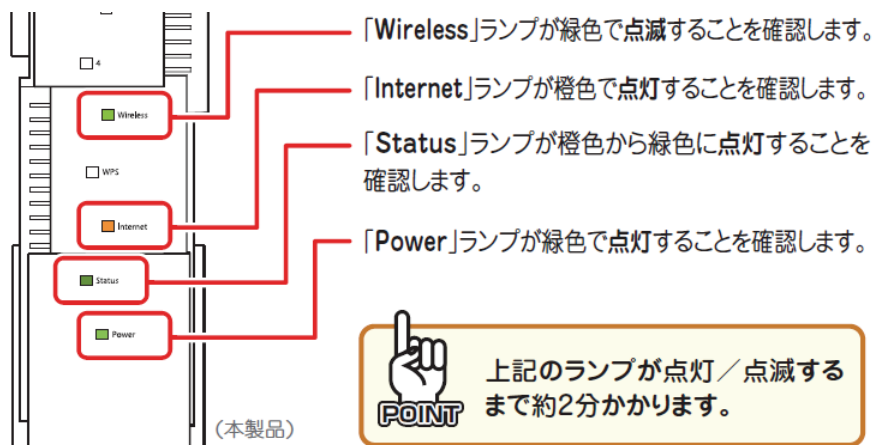
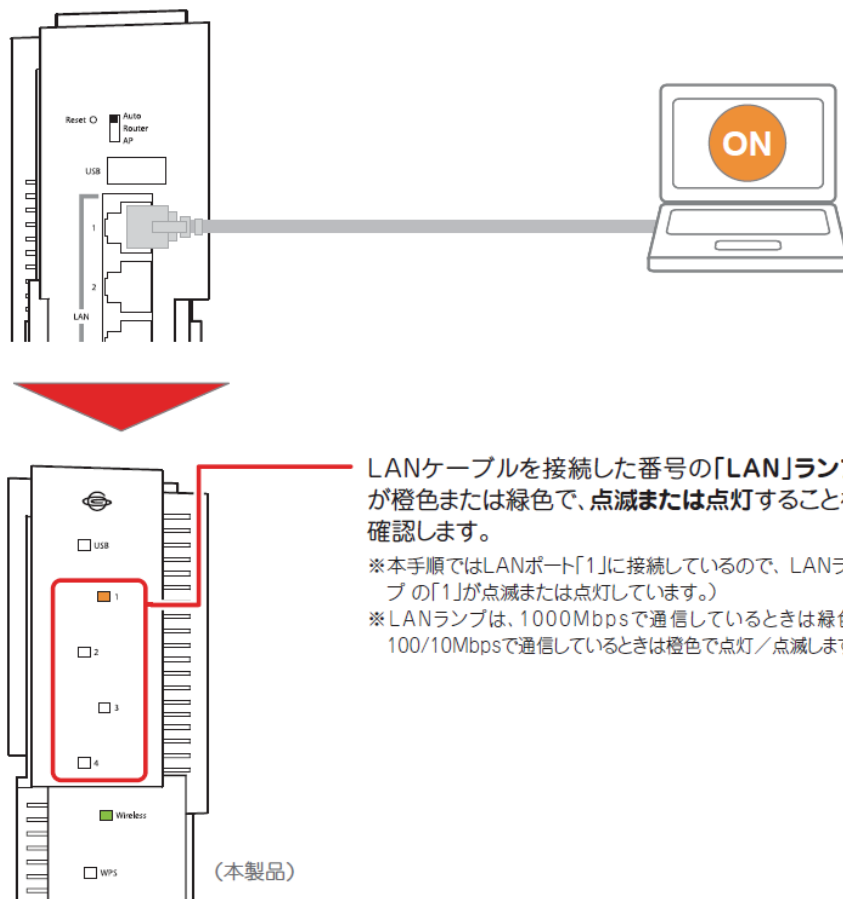
（本製品）

2. モデム※と設定用パソコンの電源をオフにします。
   ※モデムとは、プロバイダや回線事業者から、レンタルされている機器をここでは指します。
   例：ADSL モデム、ケーブルモデム、終端装置（ONU・CTU）など

3. 本製品背面の Internet ポートとモデムの LAN ポート※を既存の LAN ケーブルで接続します。

※モデムの機種によって LAN ポートの名称は異なります。

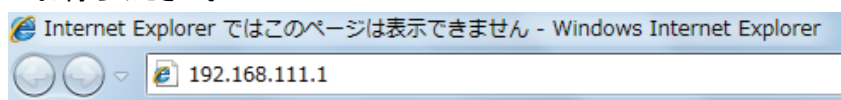
例：「PC」「パソコン」「Ethernet」など

4. 本製品背面の LAN ポート(1～4 のいずれか)と設定用パソコンの LAN ポートを付属の LAN ケーブルで接続します。

5. モデムの電源をオンにします。

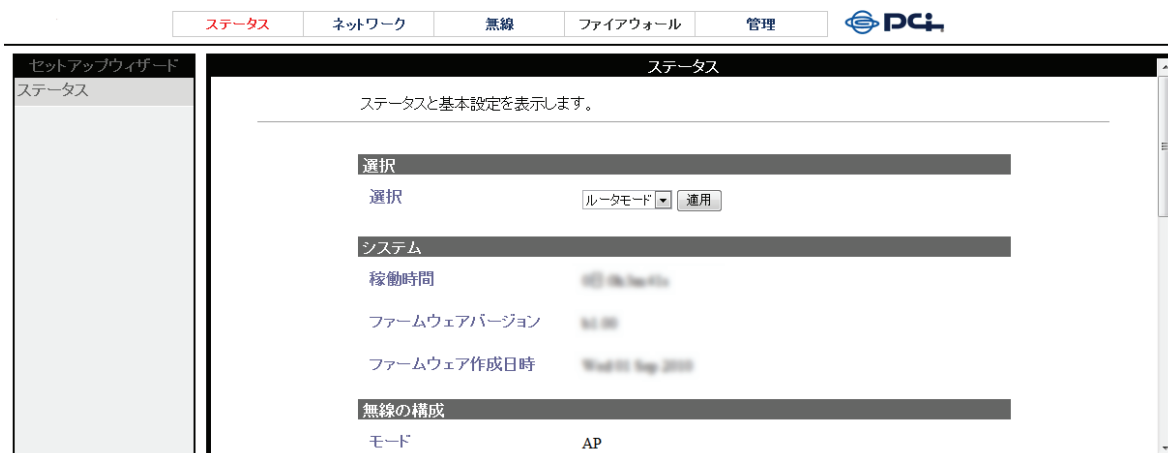
6. 付属の AC アダプタを本製品背面の電源端子とコンセントに接続します。

7. 本製品前面の「Power」ランプ・「Status」ランプ・「Internet」ランプ・「Wireless」ランプ・「System」ランプ・「Power」ランプが点灯または点滅することを確認します。

※ランプが点灯または点滅しない場合は、LAN ケーブル及び、AC アダプタがしっかりと挿し込まれているか確認してください。

8. 設定用パソコンをオンにします。

1.6　本製品設定画面へのログイン方法

※　以下では、本製品の IP アドレスが工場出荷時の状態で説明します。IP アドレスを任意に変更したときは、以下の手順を参考に IP アドレスの値を変更して設定を行ってください。

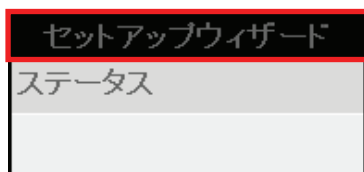
1.　WEB ブラウザを起動します。

2.　アドレス欄に IP アドレス「192.168.111.1」を入力し、<Enter>を押します。
　※お使いの環境により、WEB ブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。そのときは起動するまでお待ちください。

3.　ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
　(1)ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
　(2)パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー)を入力
　(3)[OK]をクリックします。

4.　設定画面が表示されることを確認します。

第 2 章：セットアップウィザードを使う

2.1　セットアップウィザード

ここでは、セットアップウィザードを使って、本製品の初期設定を行う方法を説明します。

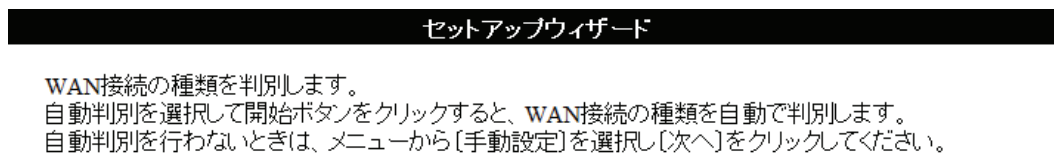
1.　左側メニューから「セットアップウィザード」をクリックします。

2.　WAN 接続の種類を判別します。

　(1) 「選択」で「自動判別」と表示されていることを確認します。

　(2) [確認開始]をクリックし、WAN 接続の種類を判別します。

　(3) 判別結果が表示されたら[次へ＞＞]をクリックします。

セットアップウィザード

WAN接続の種類を判別します。
自動判別を選択して開始ボタンをクリックすると、WAN接続の種類を自動で判別します。
自動判別を行わないときは、メニューから〔手動設定〕を選択し〔次へ〕をクリックしてください。

WAN回線の確認

選択　自動判別　(1)

WAN回線判別　確認開始　(2)

判別結果　なし

(3)　次へ >>

※判別結果が「なし」と表示されたときは下記の内容を再度ご確認の上で、セットアップウィザードを再度実行してください。

・　本製品と通信機器（モデム）とが、LAN ケーブルでしっかりと接続されているか確認してください。

・　通信機器（モデム）の電源が入っているか確認してください。

3.　WAN ポートのインターネット接続の設定をします。

【A】判別結果が「DHCP クライアント」または「なし」のとき

（A-1）［次へ＞＞］をクリックします。

WAN設定

WANの種類　DHCPクライアント

(A-1)

キャンセル　<< 戻る　次へ >>

【B】判別結果が「PPPoE」のとき

（B-1）プロバイダから指定されたユーザ名（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。

（B-2）　プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。

（B-3）　フレッツスクエアから「フレッツ東日本」「フレッツ西日本」「使用しない」のいずれかを選びます。

（B-4）　［次へ＞＞］をクリックします。

4. LAN の各種設定を行います。

(1) IP アドレスを指定します。

※初期値は「192.168.111.1」ですが、接続するネットワークの構成によって IP アドレスは異なります。

(2) サブネットマスクを指定します。

※初期値は「255.255.255.0」です。

(3) [次へ＞＞]をクリックします。

セットアップウィザード

LANの各種設定を行います。

LANの設定

IPアドレス 192.168.111.1 (1)

サブネットマスク 255.255.255.0 (2)

(3)

キャンセル << 戻る 次へ >>

5. 無線 LAN の基本設定を行います。

(1) 無線モードを以下の中から選びます。

無線モード ： 2.4GHz(B)、2.4GHz(G)、2.4GHz(N)、2.4GHz(B+G)、2.4GHz(G+N)、2.4GHz(B+G+N)

※初期値は「2.4GHz(B+G+N)」です。

※特に変更する必要がないときや不明な場合は、「2.4GHz(B+G+N)」を選びます。

(2) SSID を半角英数で入力します。

※初期値は「ap-game-●●●●●●」です。

※「●●●●●●」の部分は製品ごとに異なります。

※SSID は 32 文字以内で入力してください。

(3) チャンネル幅を「20MHz」または「20MHz＋40MHz」から選びます。

※初期値は「20MHz＋40MHz」です。

※特に変更する必要がないときや不明な場合は、「20MHz＋40MHz」を選びます。

(4) チャンネルを「自動設定」または「チャンネル 1～13」のいずれかから選びます。

※初期値は「自動設定」です。

(5) [次へ＞＞]をクリックします。

セットアップウィザード

無線の基本設定をします。

無線LAN基本設定

無線モード 2.4GHz (B+G+N) (1)

SSID ap-game- (2)

チャンネル幅 20MHz+40MHz (3)

チャンネル 自動選択 (4)

(5)

キャンセル << 戻る 次へ >>

6. 無線セキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いた WEP または WPA を設定し、無線 LAN ネットワークへの不正アクセスを防止できます。

【A】WEP のとき

(1) 暗号化から「WEP」を選びます。

(2) キー長から「64-Bit」または「128-Bit」を選びます。

(3) キーフォーマットから「16 進数」または「ASCII」(文字列)を選びます。

(4) キー設定に暗号化キーを任意に半角英数で入力します。

設定する文字数が異なります。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数で設定するとき	ASCII で設定するとき
64-Bit で設定するとき	10 文字	5 文字
128-Bit で設定するとき	26 桁	13 文字

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※ASCII の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

(5) [完了]をクリックします。

【B】WPA･WPA2･WPA2 Mixed のとき

（1） 「暗号化」から「WPA」、「WPA2」、「WPA2 Mixed」のいずれかを選びます。

（2） 「WPA/WPA2 暗号化」から「TKIP」「AES」のいずれか、または両方にチェックを入れます。

※「WPA」及び「WPA2」のときは「AES」のみ、「WPA2 Mixed」のときは「TKIP」と「AES」の両方のチェックが可能です。

（3） プレシェアードキーを任意に 8～63 文字の半角英数で入力します。

※数字「0～9」、英字「A～F、a～f」を組み合わせて入力します。

（4） [完了]をクリックします。

※「WPA2 Mixed」の画面で説明しています。

7. 「設定の変更に成功しました」の表示後、本製品が再起動します。

システムメッセージ

設定の変更に成功しました!
電源を切ったり再起動させたりしないでください。
しばらくお待ちください。69

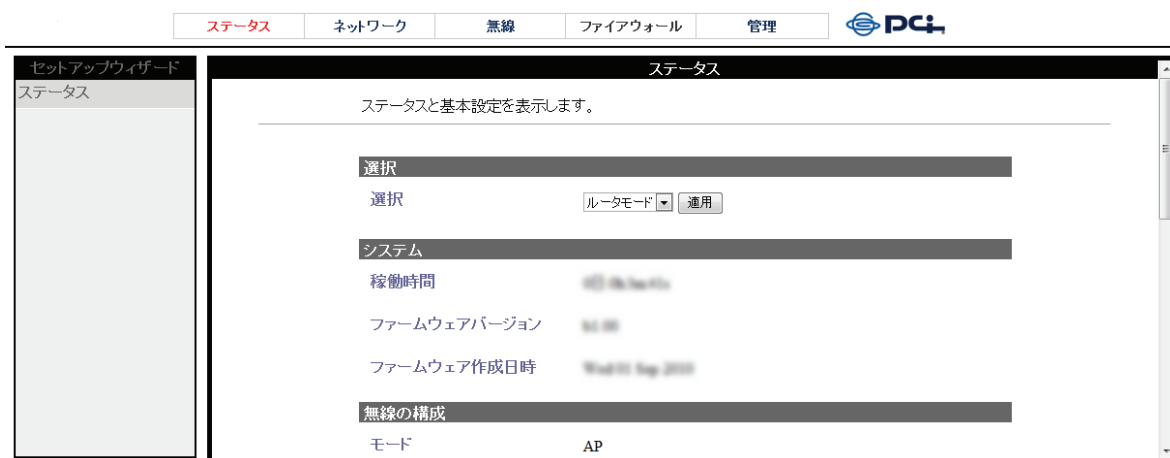
以上で設定は完了です。

WEB ブラウザを閉じます。

第 3 章:WEB 設定画面を使う

ここでは、各設定画面について説明します。

3.1 ステータス

WEB 設定画面にログインすると、最初に「ステータス」画面が表示されます。ステータス画面では、ファームウェアのバージョン、無線の構成、WAN の構成などを確認することができます。

他の画面を表示しているときに、画面の上段に表示されている「ステータス」をクリックすると、上記の画面に戻ります。

ステータス	ネットワーク	無線	ファイアウォール	管理

3.2 ネットワーク

「ネットワーク」画面で、LAN／WAN 関連の項目を設定することができます。IP アドレスの変更、DHCP 機能、WAN 側設定、パススルー、静的ルーティングなどの設定は「ネットワーク」画面より設定してください。

ネットワークの設定は、画面の上段にある「ネットワーク」をクリックします。

ステータス	ネットワーク	無線	ファイアウォール	管理

ネットワーク画面には、「LAN セットアップ」、「インターネット設定」、「ルーティング」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

3.2.1 LAN セットアップ

ここでは、LAN の各種設定を行います。

LANの設定

IPアドレス　192.168.111.1

サブネットマスク　255.255.255.0

DHCPモード　サーバ

IPアドレス範囲　192.168.111.100 - 192.168.111.200

クライアントを表示する

固定DHCP　固定DHCPの設定

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
IP アドレス	本製品の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。
DHCP モード	DHCP サーバ機能の使用を選びます。 無効:DHCP 機能を無効にします。 サーバ:DHCP サーバとして起動します。 DHCPモード　無効 (無効 / サーバ)
IP アドレス範囲	上記 DHCP モードが「サーバ」のとき、本製品に接続する機器(パソコンなど)の IP アドレスを割り振る範囲を指定します。 IPアドレス範囲　192.168.111.100 - 192.168.111.200 [クライアントを表示する]をクリックすると、本製品に接続している機器の情報が表示されます。

固定 DHCP	固定 DHCP の設定を行います。登録した MAC アドレスの機器には常に同じ IP アドレスが割り当てられます。 (1) 「固定 DHCP アドレスを有効にする」にチェックを入れます。 (2) 固定 DHCP アドレスで使用する端末の IP アドレスを入力します。 (3) 固定 DHCP アドレスで使用する端末の MAC アドレスを入力します。 (4) 端末名をコメントに入力します。 (5) [適用]をクリックします。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.2.2 インターネット設定

WAN ポートのインターネット接続の設定をします。WAN ポートの接続方法には固定 IP アドレス、DHCP、PPPoE があります。

WAN設定

WANの種類	DHCPクライアント
ホスト名	MZK-WG300FF14
MTU値	1500

◉ DNS自動設定
○ DNS手動設定

DNS 1	
DNS 2	
DNS 3	
MACアドレスコピー	00:00:00:00:00:00 [MACコピー]

☑ UPnPを有効にする

☐ IGMPプロキシを有効にする

☐ WAN側からのPINGを有効にする

☐ WAN側からのサーバ接続を有効にする

☐ IPv6パススルーを有効にする

☑ IPsecパススルーを有効にする

☑ PPTPパススルーを有効にする

☑ L2TPパススルーを有効にする

[適用] [リセット]

各設定項目の内容は以下の通りです。

■DHCP クライントでの設定のとき

（1） 「DHCP クライアント」を選びます。

（2） ホスト名を半角英数で任意に入力します。

※初期値は「MZK-WG300FF14」です。

（3） MTU 値を指定します。

※通常は初期値の「1500」にて設定します。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。

■PPPoE での設定のとき

（1） 「PPPoE」を選びます。

（2） プロバイダから指定されたユーザ名（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。

（3） プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。

（4） サービス名を半角英数で任意に入力します。

（5） 接続タイプを「常時接続」「オンデマンド」「手動設定」から選びます。

常時接続：常にインターネットに接続します。

※通常は初期値のこちらを選択します。

オンデマンド：インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。

※オンデマンドを選択したときは、「アイドルタイム」に接続要求が無くなってから自動的に切断するまでの時間を指定します。

手動設定：手動にて接続及び切断設定を行います。

※インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、毎回この画面でクリックします。

（6） MTU 値を指定します。

※通常は初期値の「1454」にて設定します。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。

■マルチ PPPoE での設定のとき

（1） 「マルチ PPPoE」を選びます。

（2） プロバイダから指定されたユーザ名 1（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。

（3） プロバイダから指定されたパスワード 1（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。

（4） プロバイダから指定されたユーザ名 2（例: guest@flets）を半角英数で入力します。

（5） プロバイダから指定されたパスワード 2（例: guest）を半角英数で入力します。

（6） 接続タイプを「常時接続」「オンデマンド」「手動設定」から選びます。

常時接続：常にインターネットに接続します。

※通常は初期値のこちらを選択します。

オンデマンド：インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。

※オンデマンドを選択したときは、「アイドルタイム」に自動的に切断するまでの時間を指定します。

手動設定：手動にて接続及び切断設定を行います。

※インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、クリックします。

（7） MTU 値を指定します。

※通常は初期値の「1454」にて設定します。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。

■PPP Unnumbered での設定のとき

（1） 「PPP Unnumbered」を選びます。

（2） プロバイダから指定されたユーザ名（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。

（3） プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。

（4） サービス名を半角英数で任意に入力します。

（5） プロバイダから指定された IP アドレスを半角英数で入力します。

（6） プロバイダから指定されたサブネットマスクを半角英数で入力します。

（7） 接続タイプを「常時接続」「オンデマンド」「手動設定」から選びます。

常時接続：常にインターネットに接続します。

※通常は初期値のこちらを選択します。

オンデマンド：インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。

※オンデマンドを選択したときは、「アイドルタイム」に自動的に切断するまでの時間を指定します。

手動設定：手動にて接続及び切断設定を行います。

※インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、クリックします。

（8） MTU 値を指定します。

※通常は初期値の「1454」にて設定します。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。

■固定 IP 接続での設定のとき

（1）　「固定 IP 接続」を選びます。

（2）　プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された IP アドレスを半角英数で入力します。

（3）　プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたサブネットマスクを半角英数で入力します。

（4）　プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたデフォルトゲートウェイを半角英数で入力します。

（5）　プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された MTU 値を半角英数で入力します。

※初期値は「1500」です。

WAN設定

WANの種類	固定IP接続	(1)
IPアドレス		(2)
サブネットマスク	0.0.0.0	(3)
デフォルトゲートウェイ		(4)
MTU値	1500	(5)

以下は共通の項目です。

項目名	動作
DNS 自動設定/ DNS 手動設定	DNS の指定方法を選びます。 特に指定が無いときは「自動設定」を選びます。プロバイダやネットワーク管理者からDNS の指定があるときは、「手動設定」を選び、「DNS 1～3」に入力します。 ※「固定 IP 接続」のときは「自動設定」は表示されません。
MAC アドレスコピー	[MAC アドレスコピー]をクリックすると、設定用パソコンの MAC アドレスをコピーします。
UPnP を有効にする	UPnP 機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
IGMP プロキシを有効にする	IGMP プロキシ機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からの PING を有効にする	WAN 側からの PING を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	WAN 側からのサーバ接続を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
IPv6 パススルーを有効にする	IPv6 パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.2.3　ルーティング

ここでは、ルーティングテーブルの設定を行います。

静的ルーティング設定

☐静的ルーティングを有効にする

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

インターフェース　WAN

適用　リセット

ルーティング一覧

送信先IPアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	インターフェース	選択

選択項目の削除　すべてを削除　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
静的ルーティングを有効にする	静的ルーティングを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
IP アドレス	ルーティング対象の IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	ルーティング対象のサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	ルーティング対象のゲートウェイを入力します。
インターフェース	ルーティング対象のインターフェースを「WAN」または「LAN」から選びます。 インターフェース　WAN WAN LAN ※初期値は「WAN」です。
ルーティング一覧	登録されたルーティング一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3 無線

「無線」画面で、無線 LAN 関連の項目を設定することができます。SSID、セキュリティ設定、WPS、などの設定は「無線」画面で設定内容を変更してください。

無線の設定は、画面の上段にある「無線」をクリックします。

ステータス	ネットワーク	無線	ファイアウォール	管理

無線画面には、「基本設定」、「詳細設定」、「セキュリティ」、「アクセスコントロール」、「WPS」、「グリーン AP」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

3.3.1 基本設定

ここでは、無線 LAN の基本設定を行います。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
無線機能を無効にする	無線機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は有効です。
無線モード	無線モードを選びます。 無線モード　2.4GHz (B+G+N) SSID　2.4GHz (B) / 2.4GHz (G) / 2.4GHz (N) / 2.4GHz (B+G) / 2.4GHz (G+N) / 2.4GHz (B+G+N) チャンネル幅 「2.4GHz（B）」 ：IEEE802.11b のみで通信します。 「2.4GHz（G）」 ：IEEE802.11g のみで通信します。 「2.4GHz（N）」 ：IEEE802.11n のみで通信します。

<table>
<tr><td></td><td>「2.4GHz（B+G）」 ：IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。
「2.4GHz（G+N）」 ：IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。
「2.4GHz（B+G+N）」 ：IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。通常は、ここを選びます。
※初期値は「2.4GHz（B+G+N）」です。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク名（SSID）</td><td>SSID を半角英数で入力します。
※ 初期値は「ap-pc-●●●●●●」です。
※ 「●●●●●●」部分は製品ごとに異なります。
※ 半角英数字で 32 文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>仮想 AP</td><td>仮想 AP 機能を使用することで、最大 5 つのアクセスポイントを設定することができます。
※SSID ＋ AP 1 ～ AP 4 の計 5 つ
[仮想 AP]をクリックすると、仮想 AP 一覧画面が表示されますので、この画面で AP 1 ～AP 4 の設定を行います。

仮想AP
仮想APの無線設定の表示や更新を行います。

仮想AP一覧
<table>
<tr><th>No.</th><th>有効</th><th>無線モード</th><th>SSID</th><th>伝送速度</th><th>SSID通知</th><th>WMM</th><th>アクセス</th><th>クライアント一覧</th></tr>
<tr><td>AP1</td><td>☑</td><td>2.4GHz (B+G+N)</td><td>ap-game-</td><td>自動</td><td>有効</td><td>有効</td><td>WAN</td><td>一覧表示</td></tr>
<tr><td>AP2</td><td>☐</td><td>2.4GHz (B+G+N)</td><td>11nRouter2</td><td>自動</td><td>有効</td><td>有効</td><td>LAN+WAN</td><td>一覧表示</td></tr>
<tr><td>AP3</td><td>☐</td><td>2.4GHz (B+G+N)</td><td>11nRouter3</td><td>自動</td><td>有効</td><td>有効</td><td>LAN+WAN</td><td>一覧表示</td></tr>
<tr><td>AP4</td><td>☐</td><td>2.4GHz (B+G+N)</td><td>11nRouter4</td><td>自動</td><td>有効</td><td>有効</td><td>LAN+WAN</td><td>一覧表示</td></tr>
</table>
適用　リセット

※ 初期値は「AP1：ap-game-●●●●●●」です。●部分は製品毎に異なります。
※ 「●●●●●●」部分は製品ごとに異なります。
※ 半角英数字で 32 文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>チャンネル幅</td><td>チャンネル幅を「20MHz」または「40MHz」から選びます。
※初期値は「40MHz」です。</td></tr>
<tr><td>SSID 通知</td><td>SSID を第三者に見られたくないとき、「無効」にします。
※初期値は「有効」です。</td></tr>
<tr><td>WMM</td><td>データ伝送機能の WMM を使用しないとき、「無効」にします。
※初期値は「有効」です。</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td>伝送速度に制限を掛けるとき、1Mbps～54Mbps、MCS0～MCS15 の範囲で設定します。
※初期値は「自動」です。</td></tr>
<tr><td>接続中のクライアント</td><td>[接続機器の表示]をクリックすると、無線クライアントとの通信情報を表示します。</td></tr>
</table>

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.2 詳細設定

ここでは、無線 LAN の詳細設定を行います。※通常、設定の必要はありません。

無線詳細設定

フラグメントしきい値	2346 (256-2346)
RTSしきい値	2346 (256-2346)
ビーコン間隔	100 (20-1000 ms)
プリアンブルタイプ	◉ ロングプリアンブル ○ ショートプリアンブル
IAPP	◉ 有効 ○ 無効
保護	○ 有効 ◉ 無効
Aggregation	◉ 有効 ○ 無効
Short GI	◉ 有効 ○ 無効
STBC	○ 有効 ◉ 無効
20/40MHz自動	○ 有効 ◉ 無効
無線周波数出力	◉ 100% ○ 70% ○ 50% ○ 35% ○ 15%

適用　キャンセル

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を 256～2346 の間で設定します。 設定したサイズよりも大きなパケットを送信するとき、パケットを分割して、送信します。 ※初期値は「2346」です。
RTS しきい値	RTS しきい値を 1～2347 の間で設定します。 RTS しきい値とは、本製品が無線 LAN 機器へパケットを送信する前に、同一ネットワーク内（SSID が同じ無線 LAN 機器）へ送信する RTS（Request To Send：送信要求）信号を送信するかどうかを決めるための境界値（＝しきい値）のことです。 ※初期値は「2346」です。

ビーコン間隔	ビーコン間隔を 20～999 の間で設定します。 ビーコンとは無線ネットワークを同期させるためにアクセスポイントから一定間隔で送信するパケットのことです。 ビーコン間隔を小さくすると、クライアントの接続効率が上がりますが、通信効率が下がります。 ※初期値は「100」です。
プリアンブルタイプ	「ショートプリアンブル」、「ロングプリアンブル」から選びます。 「ショートプリアンブル」のとき、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、ショートプリアブルに対応していないクライアントのとき、通信できなくなる恐れがあります。この場合は、「ロングプリアンブル」に設定してください。 ※初期値は「ロングプリアンブル」です。
LAPP	複数の無線 AP をまたぐ場合、同一の IP アドレスを維持します。 ※初期値は「有効」です。
保護	無線 LAN 子機との通信に RTS/CTS フロー制御を行う場合有効にします。 接続する無線 LAN 子機が少ない場合は、「無効」、多い場合は、「有効」にすると、通信速度が向上する場合があります。 ※初期値は「無効」です。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と帯域の増加のための送信を有効化します。 ※初期値は「有効」です。
Short GI	通信を高速化する Short GI 機能を有効にします。 ※初期値は「有効」です。
STBC	通信路情報（CSI）を必要としない、時空間ブロック符号（STBC）を有効にします。 ※初期値は「無効」です。
20/40MHz 自動	20/40MHz 共存方式を設定にします。 「有効」にすると、「20MHz」と「40MHz」 を混在させます。 ※初期値は「無効」です。
無線周波数出力	出力強度を設定します。 ※初期値は「100%」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.3 セキュリティ

ここでは、無線 LAN の詳細設定を行います。暗号化キーを用いた WEP または WPA を設定し、無線 LAN ネットワークへの不正アクセスを防止できます。

SSIDの選択

SSIDの選択 ap-pc-

適用 リセット

暗号化方式 WPA

認証方式 パーソナル (プレシェアードキー)

WPA 暗号化 TKIP AES

プレシェアードキー 12345678

各設定項目内容は以下の通りです。

<table>
<tr><th>項目名</th><th>動作</th></tr>
<tr><td>SSID の選択</td><td>暗号化を設定する SSID を選びます。
仮想 AP を設定しているときは、リストから該当する SSID を選びます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【WEP のとき】

適用 リセット

暗号化方式 WEP
認証方式 オープン シェアードキー
キー長 64-bit
キーフォーマット 16進数
暗号キー

・暗号化 ： 「WEP」を選びます。
・キー長 ： 「64-Bit」または「128-Bit」を選びます。</td></tr>
</table>

・キーフォーマット ： 「16 進数」または「ASCII」（文字列）を選びます。

・暗号化キー ： 任意に半角英数で入力します。

設定する文字数が異なります。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数で設定するとき	ASCII で設定するとき
64-Bit で設定するとき	10 文字	5 文字
128-Bit で設定するとき	26 桁	13 文字

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※ASCII の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

【WPA・WPA2・WPA2 Mixed のとき】

適用　リセット

暗号化方式　WPA-Mixed

認証方式　パーソナル (プレシェアードキー)

WPA/WPA2暗号化　TKIP　AES

プレシェアードキー　12345678

・暗号化方式 ： 「WPA」、「WPA2」、「WPA2 Mixed」のいずれかを選びます。

・認証方式 ： パーソナル（プレシェアードキー）のみになります。

・WPA/WPA2 暗号化 ： 「TKIP」「AES」のいずれか、または両方にチェックを入れます。

※「WPA」及び「WPA2」のときは「AES」のみ、「WPA2 Mixed」のときは「TKIP」と「AES」の両方のチェックが可能です。

・プレシェアードキー ： 任意に 8～63 文字の半角英数で入力します。

※数字「0～9」、英字「A～F、a～f」を組み合わせて入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.4 アクセスコントロール

ここでは、無線による本製品への接続を制限します。アクセスポリシーが「許可」の場合、登録機器のみ接続できます。「拒否」の場合、登録機器は本製品への接続はできません。

無線アクセスコントロール設定

アクセスポリシー　無効

MACアドレス

コメント　最大文字数：20

登録できる最大設定数：20

適用　リセット

アクセスコントロール一覧

MACアドレス	コメント	選択

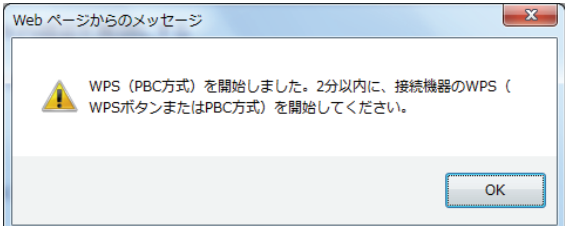
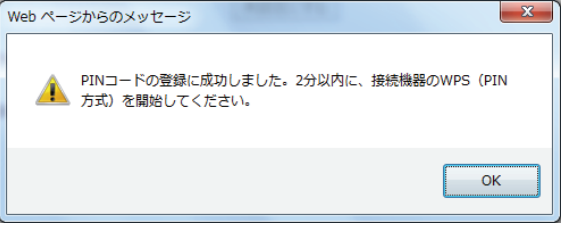
選択項目の削除　すべてを削除　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
アクセスポリシー	「許可」または「拒否」を選びます。 許可：登録機器のみ無線接続が可能になります。 拒否：登録機器は無線接続が不可になります。 ※初期値は「無効」です。
MAC アドレス	登録する機器の MAC アドレスを入力します。
コメント	任意でコメントを入力します。
アクセスコントロール一覧	登録した機器の一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.5 WPS

ここでは、WPS の設定を行います。WPS 機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
WPS 機能を無効にする	WPS 機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は有効です。
WPS ステータス	WPS 接続が行っているか確認できます。 設定済み：WPS 接続を行っています。 未設定：WPS 接続は行っていません。 [未設定にする]をクリックすると、WPS 接続している機器との接続を解除します。
PIN コード	本製品の PIN コードです。 相手側機器と PIN コード方式の WPS 接続を行うときは、このコードを指定します。
PBC 方式	PBC ボタンを使って相手側機器と WPS 接続します。 [PBC 開始]をクリックすると、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。 Web ページからのメッセージ WPS（PBC方式）を開始しました。2分以内に、接続機器のWPS（WPSボタンまたはPBC方式）を開始してください。 OK

接続機器の PIN コード	PIN コード方式を使って相手側機器と WPS 接続します。 相手側機器の PIN コードを入力し、[PIN 開始]をクリックすると、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。 Web ページからのメッセージ PINコードの登録に成功しました。2分以内に、接続機器のWPS（PIN方式）を開始してください。 OK

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.6 グリーン AP

ここでは、グリーン AP 機能により指定した時間内のみ無線機能を有効にすることができます。
※機能を有効にする前に、本製品の時刻設定を必ず行ってください。

グリーンAPの設定

☐グリーンAPを有効にする

曜日 ☐毎日

☐日 ☐月 ☐火 ☐水 ☐木 ☐金 ☐土

時間 ○24時間

◉開始 00 : 00 終了 00 : 00

適用 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
グリーンAPを有効にする	グリーン AP 機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
曜日	指定する曜日を「毎日」または「月～土」から選びチェックを入れます。
時間	指定する時間を「24 時間」または「開始～終了」時間を設定します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4 ファイアウォール

「ファイアウォール」画面で、ポートやフィルタ関連の項目を設定することができます。DMZ、MAC フィルタ、仮想サーバなどの設定は「ファイアウォール」画面で設定内容を変更してください。

ファイアウォールの設定は、画面の上段にある「ファイアウォール」をクリックします。

ステータス	ネットワーク	無線	ファイアウォール	管理

ファイアウォール画面には、「DMZ の設定」、「URL フィルタ設定」、「MAC フィルタ」、「ポートフィルタの設定」、「IP フィルタ」、「仮想サーバ」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

3.4.1 DMZ の設定

ここでは、LAN 上の機器に Internet からアクセスできるように設定します。インターネット側からの通信のうち、仮想サーバに設定されていないすべての通信が DMZ ホストに転送されます。

※パソコンは IP アドレスを手動で設定する方法(IP 手動設定)を推奨します。

※DMZ ホストに設定したパソコンにはセキュリティ制限がなくなります。DMZ ホストに設定したパソコン側でのセキュリティ対策が必要になります。

DMZの設定

☐ DMZを有効にする

DMZホスト IPアドレス

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
DMZ を有効にする	DMZ を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
DMZ ホスト IP アドレス	DMZ に指定する LAN 上の機器の IP アドレスを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4.2 URL フィルタ

ここでは、登録した URL またはキーワードを含むサイトへの接続を拒否するよう設定します。

URLフィルタ設定

☐ URLフィルタを有効にする

URLアドレス (最大文字数: 30)

(登録できる最大設定数: 8)

適用 リセット

URLフィルタ一覧

URLアドレス	選択

選択項目の削除 すべてを削除 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
URL フィルタを有効にする	URL フィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
URL アドレス	接続を拒否する URL やキーワードを入力します。
URL フィルタ一覧	登録した URL フィルタの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4.3 MAC フィルタ

ここでは、登録した MAC アドレスの機器の通信が可能になるよう設定します。

MACフィルタの設定

☐MACフィルタを有効にする

MACアドレス

コメント　最大文字数: 20

登録できる最大設定数: 20

適用　リセット

MACフィルター覧(許可)

MACアドレス	コメント	選択

選択項目の削除　すべてを削除　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
MAC フィルタを有効にする	MAC フィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
MAC アドレス	接続を許可する機器の MAC アドレスを入力します。
コメント	コメントを任意で入力します。
MAC フィルター覧	登録した MAC フィルタの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

※MAC フィルタ機能を使用するときは、はじめに設定用パソコンの MAC アドレスを登録してください。設定用パソコンの MAC アドレスを登録しないと、設定画面へのログインができなくなりますので、ご注意ください。

3.4.4 ポートフィルタの設定

ここでは、登録したポート番号を開放し、開放したポート番号を利用する通信のみ可能となる設定をします。

ポートフィルタの設定

☐ポートフィルタを有効にする

ポート番号の範囲 [ ] - [ ]

プロトコル [TCP/UDP ▼]

コメント [ ] 最大文字数:20

登録できる最大設定数:20

[適用] [リセット]

ポートフィルタ一覧(許可)

ポート番号の範囲	プロトコル	コメント	選択

[選択項目の削除] [すべてを削除] [リセット]

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ポートフィルタを有効にする	ポートフィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
ポート番号の範囲	ポート番号の範囲を指定します。 例:「4321」-「4321」など
プロトコル	通信するプロトコルを「TCP」「UDP」「TCP/UDP」から選びます。 プロトコル [TCP/UDP ▼] TCP/UDP TCP UDP ポート番号の範囲
コメント	コメントを任意で入力します。
ポートフィルタ一覧	登録したポートフィルタの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4.5 IP フィルタの設定

ここでは、登録した IP アドレスの機器の通信のみ可能となる設定をします。

IPフィルタの設定

IPフィルタを有効にする

ローカルIPアドレス

プロトコル　TCP/UDP

コメント　最大文字数: 20

登録できる最大設定数: 20

適用　リセット

IPフィルタ一覧

ローカルIPアドレス	プロトコル	コメント	選択

選択項目の削除　すべてを削除　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
IP フィルタを有効にする	IP フィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
ローカル IP アドレス	接続を許可する機器の IP アドレスを入力します。
プロトコル	通信を許可するプロトコルを「TCP」「UDP」「TCP/UDP」から選びます。 プロトコル　TCP/UDP コメント　TCP/UDP TCP UDP
コメント	コメントを任意で入力します。
IP フィルタ一覧	登録した IP フィルタの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4.6 仮想サーバの設定

ここでは、登録したポート番号へのアクセスを、LAN 内の特定の機器に設定します。

仮想サーバの設定

仮想サーバを有効にする

IPアドレス

プロトコル TCP/UDP

ポート番号の範囲 -

コメント 最大文字数:20

登録できる最大設定数:20

適用 リセット

ポートフィルター覧

IPアドレス	プロトコル	ポート番号の範囲	コメント	選択

選択項目の削除 すべてを削除 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
仮想サーバを有効にする	仮想サーバを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
IP アドレス	ポート開放する機器の IP アドレスを入力します。
ポート番号の範囲	ポート番号の範囲を指定します。 例:「4321」-「4321」など
プロトコル	通信するプロトコルを「TCP」「UDP」「TCP/UDP」から選びます。 プロトコル TCP/UDP TCP/UDP TCP UDP ポート番号の範囲
コメント	コメントを任意で入力します。
ポートフィルター覧	登録した仮想サーバの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.5 管理

「管理」画面で、機器管理関連の項目を設定することができます。時刻設定、ファームウェア更新、各種ログ確認などは「管理」画面で設定／確認をしてください。

管理の設定は、画面の上段にある「管理」をクリックします。

ステータス	ネットワーク	無線	ファイアウォール	管理

管理画面には、「パスワード」、「NTP」、「ダイナミック DNS 設定」、「ファームウェア更新」、「設定情報」、「統計情報」、「システムログ」、「再起動」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

3.5.1　パスワード

ここでは、設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定します。

ユーザアカウントの設定

ユーザ名

新しいパスワード

パスワードの確認

(最大文字数：30)

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ユーザ名	本製品の設定画面にログインするときのユーザ名を入力します。 ※初期値は「admin」です。
新しいパスワード	本製品の設定画面にログインするときのパスワードを入力します。 ※初期値は「password」です。
パスワードの確認	入力間違いを防ぐ為、もう一度パスワードを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.5.2 NTP

ここでは、パソコンと同期または NTP サーバを利用し、時刻を設定します。

タイムゾーンの設定

現在の時刻 2010 年 1 月 1 日 1 時 1 分 1 秒

PCと同期

タイムゾーンの選択 (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

☑NTP機能を有効にする

□夏時間の自動調整を有効にする

NTPサーバ 116.58.170.136 - 日本

(IPアドレス設定)

(ドメイン名設定)

適用 リセット 更新

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
現在の時刻	現在の時刻を手動で入力します。 [PC と同期]をクリックすると、設定用パソコンの時刻と同期します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選びます。 ※初期値は「(GMT＋09:00)大阪、札幌、東京」です。
NTP 機能を有効にする	NTP 機能を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
夏時間の自動調整を有効にする	夏時間(サマータイム)を自動調整するときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
NTP サーバ	NTP サーバを設定します。 各国の NTP サーバから選ぶ以外にも、IP アドレスやドメイン名で NTP サーバを指定する事ができます。 ※初期値は「116.58.170.136 － 日本」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.5.3 ダイナミック DNS 設定

ここでは、DDNS サービスに登録しているユーザ名、パスワード等を本製品に設定することで、本製品の WAN 側の IP アドレスを定期的にダイナミック DNS サービスに通知する設定をします。
本製品は、「CyberGate – DDNS –」、「DynDNS」のダイナミック DNS サービスに対応しています。

ダイナミックDNS設定

ダイナミックDNSを有効にする

DDNSプロバイダ DynDNS

ドメイン名

ユーザ名

パスワード/キー

結果

適用 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ダイナミック DNS を有効にする	ダイナミック DNS を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
DDNS プロバイダ	DDNS サービスを登録している「DynDNS」または「Cybergate」を選びます。 DDNSプロバイダ DynDNS DynDNS Cybergate ドメイン名
ドメイン名	DDNS サービスで登録したドメイン名（Dynamic DNS Hosts）を入力します。
ユーザ名	DDNS サービスで登録したユーザ名（Username）を入力します。
パスワード/キー	DDNS サービスで登録したパスワードを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.5.4 ファームウェア更新

ここでは、ファームウェアを更新します。
下記弊社のホームページより最新のファームウェアがあるときはダウンロードできます。
http://www.planex.co.jp/support/download/
※あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、パソコンのハードディスクなどに保存しておいてください。

ファームウェア更新
ファームウェアバージョン
ファイル選択 参照...
アップロード リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
ファイル選択	ファームウェアを指定します。 [参照]をクリックして、予め保存した新しいファームウェアファイルを指定します。

[アップロード]をクリックすると、ファームウェアのアップデートを開始します。
ファームウェアの更新が完了すると、本製品が起動します。

3.5.5 設定情報

ここでは、現在の設定情報を保存や読み込み設定をしたり、初期化したりします。

設定の保存

現在の設定情報を保存　[保存]

設定の復元

保存した設定情報を復元　[参照...] [アップロード]

設定の初期化

設定情報を初期化　[リセット]

各設定項目内容は以下の通りです。

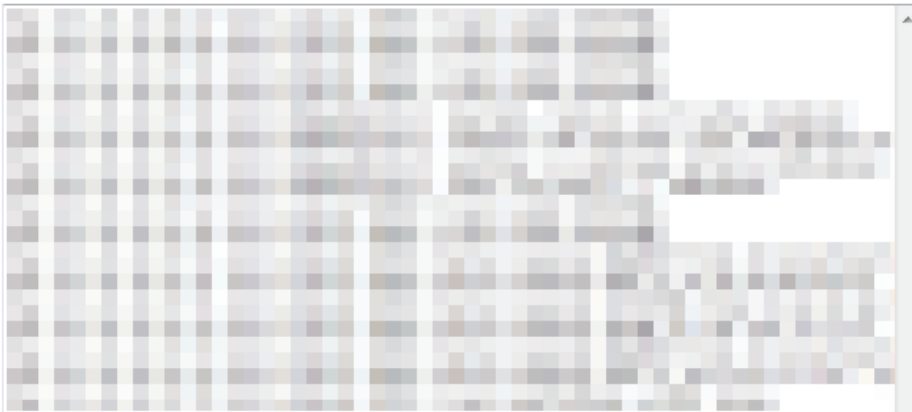
項目名	動作
設定の保存	現在の設定情報を保存します。 [保存]をクリックすると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックして設定ファイルをハードディスクなどに保存します。 ファイルのダウンロード このファイルを保存しますか、または開くためのプログラムをオンラインで検索しますか? 名前: config.bin 種類: 不明なファイルの種類, 2.83 KB 発信元: 192.168.111.1 検索(F) 保存(S) キャンセル インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピューターに問題を起こすものもあります。発行元が信頼できない場合、このファイルを開いたり保存したりするためのプログラムは検索しないでください。危険性の詳細
設定の復元	設定情報を保存したファイルを読み込み復元します。 [参照]をクリックして、予め保存した設定ファイルを指定した後、[アップロード]をクリックすると、設定情報を読み込みます。 読み込みが完了すると、本製品が再起動します。
設定の初期化	本製品を工場出荷時状態に戻します。 [リセット]をクリックすると、本製品が再起動し初期化します。 ※初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

3.5.6 統計情報

ここでは、無線ネットワークと有線ネットワークの通信情報を表示します。

[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

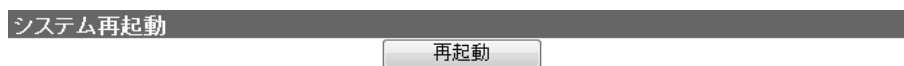
3.5.7 システムログ

ここでは、システム情報を表示します。

[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

[クリア]をクリックすると、ログを消去します。

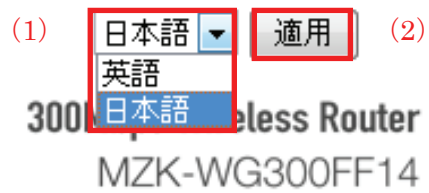
3.5.8 再起動

ここでは、本製品を再起動することができます。

システム再起動
再起動

[再起動]をクリックすると、本製品が再起動します。

3.6 言語切り替え

本製品は設定画面の言語を切り替えることができます。

(1) 設定画面右上から「日本語」または「英語」を選びます。
(2) [適用]をクリックすると言語が切り替わります。

第 4 章:付録.

4.1 製品仕様.

型番	MZK-WG300FF14
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯(2,412～2,472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n(40MHz) :最大 300Mbps
	IEEE802.11g:54、48、36、24、18、12、9、6Mbps(自動認識)
	IEEE802.11b:11、5.5、2、1Mbps(自動認識)
伝送方式	IEEE802.11n:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11g:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS 方式)
アンテナ利得	3dBi(peak)
アンテナ	内蔵アンテナ 2 本(2T2R)
セキュリティ	WPA2-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA2-PSK(暗号化方式:AES)
	WPA-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA-PSK(暗号化方式:AES)
	WEP(キー長:64bit/128bit、キーフォーマット:ASCII/Hex)
	無効(暗号なし)
自動無線設定機能	WPS
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3ab(1000BASE-T)
	IEEE802.3u(100BASE-TX)
	IEEE802.3i(10BASE-T)
インターフェース	RJ45port×5(Internet×1、LAN×4、AutoMDI/MDI-X 対応)
伝送速度	1000/100/10Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	1000BASE-T:カテゴリ 5e 以上
	100BASE-TX:カテゴリ 5 以上
	10BASE-T:カテゴリ 3 以上
ルータ仕様	
対応 WAN 回線	FTTH、ADSL、VDSL、CATV
WAN 設定	IP アドレス自動取得(DHCP クライアント)

WAN 設定	固定 IP アドレス（手動設定）
	PPPoE クライアント設定
	PPPoE マルチセッション
	Unnumbered PPPoE
LAN 設定	固定 IP アドレス（手動設定）
	DHCP サーバ（有効/無効）
ルーティング機能	静的ルーティング
アドレス変換	NAPT（IP マスカレード）
ローカルサーバ機能	ポートフォワーディング、DMZ
セキュリティ	MAC アドレスフィルタリング
	IP フィルタリング
	URL ブロック
ダイナミック DNS	CyberGate
ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	WPS ボタン、モードスイッチ（Auto/Router/AP）、リセットボタン
LED	USB、LAN×4、Wireless、WPS、Internet、Status、Power
電源	DC 5V、2.5A
消費電力	最大約 6.0W
外形寸法	47mm（W）×163mm（H）×121mm（D）
重量	249g
動作時環境	温度：0～40℃
	湿度：10%～90%（結露なきこと）
保存時環境	温度：−20～75℃
	湿度：5%～95%（結露なきこと）
その他	
USB ポート	USB2.0×1（TypeA）※バージョンアップにより機能追加予定
USB 機能	storage　　　　※バージョンアップにより機能追加予定
AC アダプタ規格	入力：AC100～240V、50/60Hz
	出力：DC 5V、2.5A
ログ機能	システムログ
管理機能	リモート管理
対応 OS	Windows 7（32bit/64bit）/Vista（32bit/64bit）/XP　日本語版
	Mac OS X 10.6/10.5/10.4
各種設定方法	WEB ブラウザ
保証期間	1 年間

■注意事項

※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。

※WPS を利用するためには、接続する無線 LAN 機器も WPS に対応している必要があります。

※表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※無線セキュリティの設定に、WEP または TKIP をご利用の際は、IEEE802.11n 本来の通信速度より遅くなる場合があります。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp)を参照ください。

4.2 トラブルシューティング

もし本製品が正常に動作しないとき、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。トラブルの解決に役立つ可能性があります。

症状	可能な解決策
電源が入らない	本製品の電源がはいらないときは、次の内容を確認してください。 ・ AC アダプタが正しく接続されていますか？ ・ 同梱品以外の AC アダプタを使用していませんか？ ・ 延長コードやタップを使用しないで電源をつないでみてください。 ・ 他のコンセント差込口に変えてみてください。 ・ 正しい電源、電圧で使用していますか？ それでも改善されないときは、恐れ入りますが、本製品の不具合の可能性がございますので、別紙の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認頂き、ご同意のうえで、修理を依頼してください。 ★同意頂けない場合は、ご購入の販売店にご返却ください。 但し、お客様の過失で製品にキズ、欠損、欠品などがある場合にはご返却できません。
設定画面にログインできない	設定画面にログインできないときは、次の内容を確認してください。 ・ パソコンの IP アドレスは「自動取得」になっていますか？ ・ 本製品背面のモード切替スイッチが、「Auto」側に切り替わっていますか？ ・ WEB ブラウザにプロキシサーバーの設定をしていませんか？ ・ WEB ブラウザでセキュリティを高く設定していませんか？ ・ セキュリティソフトウェア(ウィルスチェック、ファイアウォールなど)を停止させて改善されませんか？ それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化し、再度ログインをお試しください。
インターネットに接続できない	インターネットに接続できないときは、次の内容を確認してください。 ・ パソコンの IP アドレスは自動取得になっているか ・ すべての機器の電源を OFF にして、60 分ほどそのままの状態にして改善するか ・ IP アドレスでホームページにアクセスできるか ※ ブラウザのアドレスに「http://210.197.79.10」と入力して<Enter>キーを押して、弊社（プラネックス）のホームページが表示されるか確認してください。 それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、セットアップウィザードをお試しください。 （初期化の方法は、P8 を参照してください）

無線 LAN がつながらない	無線 LAN がつながらないときは、次の内容を確認してください。 ・ 本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に距離がありませんか？ ・ 本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に障害物がありませんか？ ・ 電子レンジの傍で接続をしていませんか？ ・ 本製品の Wireless ランプ（LED ランプ）は有効（点灯）になっているか ・ 無線 LAN アダプタが搭載のパソコンで、無線 LAN のスイッチがオフになっていないか ・ 無線 LAN が無効になっていませんか？ ・ ワイヤレスネットワークの IP アドレスが自動取得に設定されていますか？ ・ 無線 LAN クライアント（子機）に設定されている SSID および無線 LAN セキュリティ設定は本製品と同じになっていますか？ ・ 本製品の無線チャンネルを変更して改善されますか？ （無線チャンネルの設定方法は、P35 の「3.3.1　基本設定」を参照してください。） それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、セットアップウィザードをお試しください。 （初期化の方法は、P8 を参照してください）

4.3 お問合せ

●サポート Q&A 情報（FAQ、よくある質問と答え）
ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。
お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

http://faq.planex.co.jp/

●オンラインマニュアル
最新版のマニュアルを参照できます。

http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml

●技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ
製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

＜お問い合わせフォーム＞
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24 時間

＜サポートダイヤル＞
0570-064-707
受付：月～金曜日、10 ～ 12 時、13 ～ 17 時（※祝祭日および弊社指定の休業日を除く）

＜ FAX ＞
0570-088-194
受付：24 時間

●弊社製品の追加購入〈PLANEX DIRECT〉

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。
ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

http://direct.planex.co.jp/

●製品に関するお問い合わせ〈ご質問/ お見積もりフォーム〉

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

●その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

http://www.planex.co.jp/

上記内容は 2010 年 11 月現在の情報です。
内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。